

## 相互審判・敗者審判の手引き

### 1. 競技開始前

- |                    |  |
|--------------------|--|
| ・選手確認              | ゼッケン着用の確認と共に、対戦表との照合。  |
| ・ユニフォーム確認          | 日本卓球協会公認用具指定業者のもので公認マークが付いているかどうか。                               |
| ・ラケット確認            | ラケットは JTTA、ラバーは JTTA か ITTF から公認されているか。ラバーのはみ出しや欠損はないか、平坦であるか 等。 |
| ・ボール選択             | 要求が異なる場合は、拳により決定。  |
| ・サービス・レシーブ・エンド選択の拳 |  |
| ・開始前の練習時間計測（2分以内。） |  |

### 2. 競技中

- |            |  |
|------------|--|
| ・開始時の宣告    | ファーストゲーム ○○ トゥ サーブ ラブオール。  |
| ・時間計測      | 1ゲーム毎に計測する。開始後 10 分経過した場合は促進ルールが適用され、そのマッチ終了まで継続する。但し、10 分経過時に双方の得点合計が 18 点 (9-9, 10-8) 以上の場合は適用されない。促進ルール適用の場合は、本部にストロークカウンターを要請する。 |
| ・カウントコール   | ポイント決定後直ちに宣言（選手に聞こえるように）。  |
| ・レット・ストップ  | 選手に聞こえるように宣言し、同時に右手を頭上に高く上げる。  |
| ・競技の継続性を促す | タオル使用時やポイントの合間が長引かないようにする。   |
| ・サービス確認    | オープンハンドであるか、掌にのせているか、台より下がっていないか、16 cm 以上真っ直ぐ上に投げ上げているか、落下途中で打球しているか、打球点が台上でないか、レシーバーから見えているか、等                                      |
| ・ゲーム終了宣告   | 11-X ゲーム トゥ ○○   |
| ・ゲーム間の計測   | 1 分以内。超過する前にタイム宣言。   |
| ・マッチ終了宣告   | 11-X ゲーム アンド マッチ トゥ ○○。勝者側の手を斜め上方に上げる。   |

### 【ハンドシグナル】

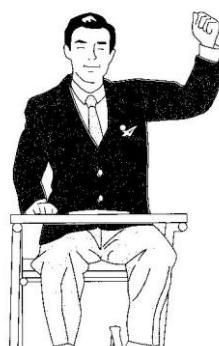
#### 1. 1人審判の場合

カウント器を持ちながらの場合、開始時のサーバーと主にレット、必要なときにサーバーや勝者。

#### 【主審ポイント】

#### 【主審レット】

#### 【副審ネット・ストップ】



#### 2. 2人審判の場合

主審～開始時のサーバー、ポイント、レット、勝者など。  
副審～ネット、ストップ、副審側のサイドの判定。

【時間計測】 練習 1 分、ゲーム 10 分、ゲーム間 1 分